

The background of the slide is a photograph of a school building with a red balcony and a large tree with sparse, brownish leaves. The text is overlaid on this image.

—

令和7年度 「ちばっ子の学び変革」推進事業 研究状況報告書

「ちばっ子の学び変革」推進事業
松戸市立 東部小学校

学校紹介

明治6年 開校 創立153年目

【学校教育目標】

「ゆめにむかう子」

～ 元気な子 かしこい子 思いやりのある子 ～



児童数 713名

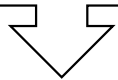
学級数 28学級+通級指導教室

- ・知的障害特別支援学級 2学級
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級 4学級含む

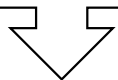
SSR(スクールサポートルーム)設置

目次

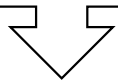
1, 研究主題と仮説



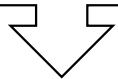
2, 主題設定の理由



3, 令和7年度の実践と手立て



4, 研究の成果と課題



5, 今後の展望について

- (1) 目指す姿と校内研究イメージ
- (2) 授業づくりのためのポイント
- (3) 本校の指導案について
- (4) 加配教員の活用
- (5) 児童の変容
- (6) その他の取り組み

1, 研究主題と仮説

研究主題

児童が主体的になる授業の実践

～ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業の充実に向けて ～

仮説

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して、単元(指導計画)の中に「個別学習」の時間を位置付けて、児童の実態に合わせた学習形態の選択が図られれば、児童が主体的に学習に取り組むことができるのではないだろうか。

2, 主題設定の理由

児童の実態

(全国・学力学習状況調査の結果より)

- 17 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 20 わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる
- 21 家庭学習における学習時間

- ・友達と関わり合って学ぶことができる。
- ・学びを考えたり、工夫したりすることができる。
- ・自分で学びを計画して取り組むことが苦手。

(自校アンケートより)

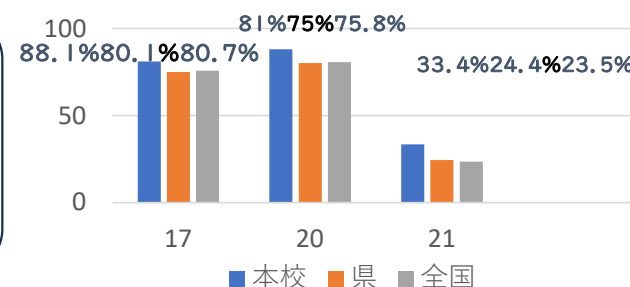
- 32 問題解決に向けて進んで学んでいる
- 33 学んだことを生かしながら考えをまとめている
- 35 友達と話し合う活動を通して考えを深めたり、新たな考えに気づいたりしている

- ・課題に向かって学習すること、友達と学ぶことが好きな児童が多い。
- ・学んだことを表現することに苦手意識をもっている児童が多い。

本校の課題

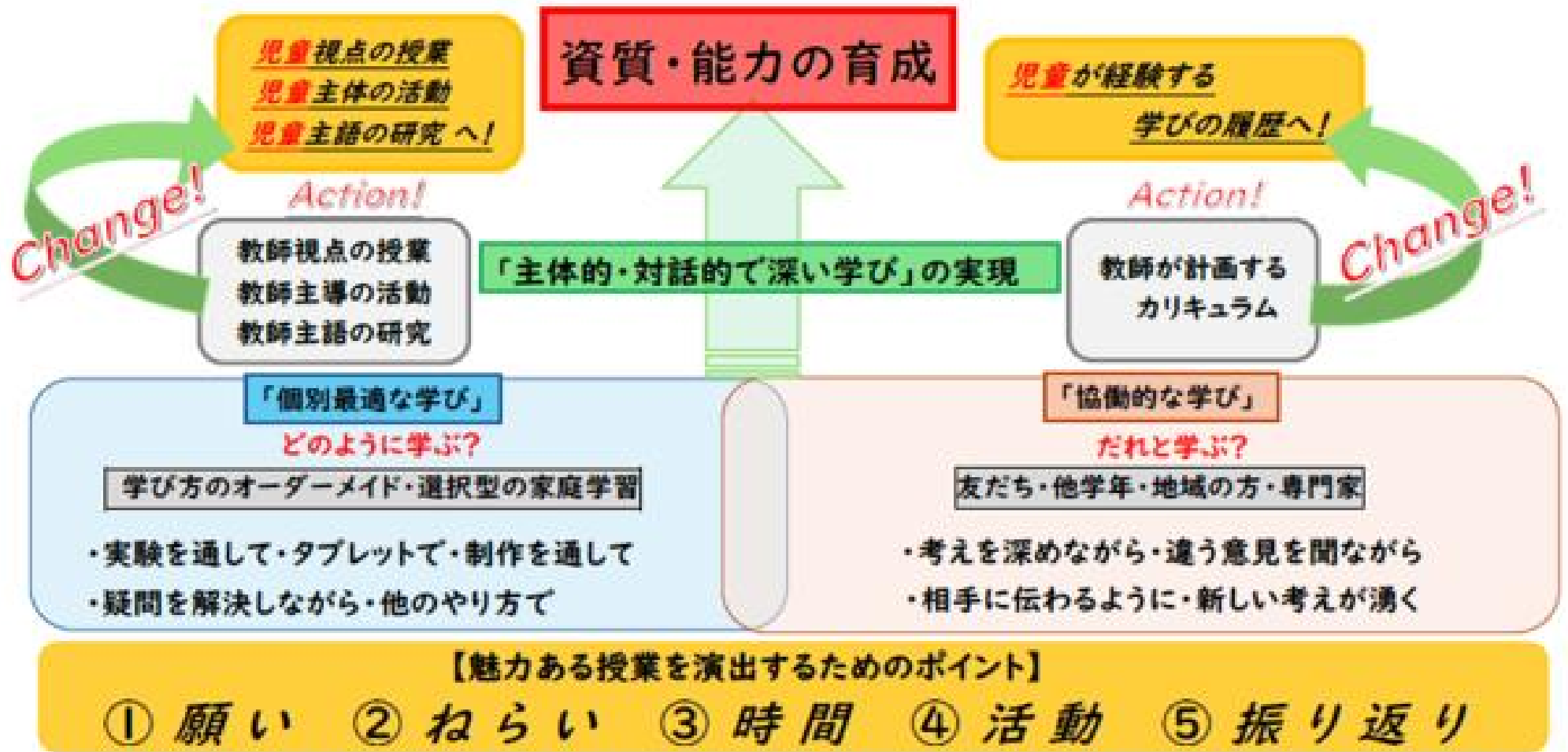
- ① 学習を自分で計画したり、取り組み方を考えたりすること
- ② 自分なりに自信をもって取り組むための手立て

質問紙調査より



3, 令和7年度の実践と手立て

(1) 目指す姿と校内研究イメージ



(2) 授業づくりのためのポイント

① 「願い」

① 教師がどんな願いをもって、
学びを進めていきたいかを伝える

② 「ねらい」

② 単元で身につけたい力を明確にする

③ 時間

③ 単元を通した学びの計画を立てる

④ 活動

④ 学びの環境デザインを作る

⑤ 振り返り

⑤ 学び方や学びの形を振り返る

① 「願い」

② 「ねらい」

道の回りに様々な施設がありそれらのよさを感じ、周辺地域の暮らしやすさに関与することができる状況を育みたい。

(1) ねらい(学習目標)【学習指導要領「児童の育成」(4)「主体的学習」】

- 一部 みんながつかうまちのしせつをしよう【第1時～第2時】(全2時間)
 - ・ 周辺地域の公共施設を知り、公共のルールやマナーに気付かせる。
 - ・ 「まちのしせつたんけん」の計画を立てることを通して、施設や働く人などに興味をもたせる。
- 二部 みんながしせつにたんけんにいこう【第3時～第4時】(全2時間)
 - ・ その施設について詳しく知りたいことを実際に訪たり、インタビューしたりする活動を通して、多くの人が利用するための様々な工夫があることやそれらを実現する人々がいることを気付かせる。

(2) 学習を通して実現した児童のねらい
公共施設や地域の公共施設を利用する活動を通して、それぞれの良さや施設やそこで働いている人々について知ることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが理解することができる。

- 三部 みんなでつかうしせつについて話し合おう【第5時～第6時】(全2時間)(本時)
 - ・ 身近にある公共施設について共通する役割や働きを調べたり伝え合ったりすることを通して、それらを支えている人々がいることを理解させる。
 - ・ 自分の身の回りにみんなが使う施設があり、それらが多くの人の生活を豊かにしていることを実感することで、これからは地域の公共施設に関心を持ち、大切にしようとする態度を養う。

(2) 本時の視点

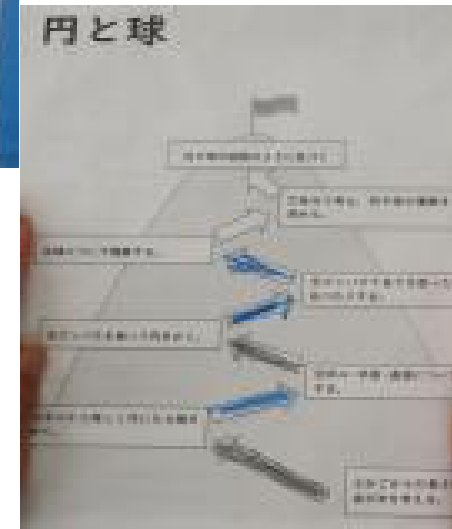
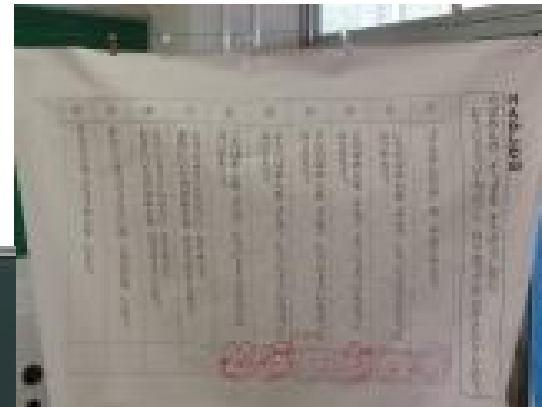
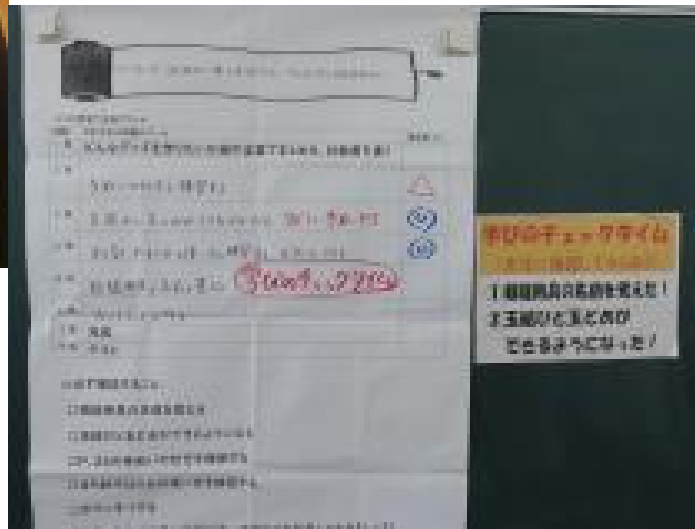
- ・ 調べた公共施設の目的を知り、比較することで、それぞれの良さをみつけることができる。

(4) 授業の展開(本時5/5) 児童数 27名

学習過程	1. 学習の展開しはじめ 第1時～第2時	2. 個人で調べたり、仲間と関わったりして問題を発見する。 第3時～第4時(たんけん) 第5時～7時	3. 学習を振り返る 第8時(まとめ) 本時
	予想される学習活動・児童の展開の流れ		
	問題について分かったことまみんなに伝えよう。		
これまで調べてきたことから・・・ 個人の調べ活動	<p>施設ポータルサイト をまとめている場面 をみたりする。</p> <p>みんなの空想をきいている。 ・ 空想をきいた人が、聞いています。</p>	<p>自分の調べた施設について伝え合おう</p> <p>伝えタイム</p> <p>施設を説明したり、説明してくれたりする人がある。 ・ 大層になった時、助けてくれる施設がある。 ・ 学校など、パトロールをしてくれる人がいる。 ・ 郵便局は、荷物を受け取るだけじゃなくて、お金を預かってもらえる。 ・ 銀行には何れでも行くことができる。お金の預け入れも、大層な建物は、みんながルールを守って使っていないといけいない。</p>	<p>公共施設について、共通する役割を確認しよう。</p> <p>まとめタイム(一斉)</p> <p>施設ポータルサイトの役割をもっと知って もらいたいな。</p> <p>銀行の大切な建物を大切にしよう。</p> <p>郵便局で手紙を出してみたいな。</p> <p>通関をかせないようにお札のつぎに 目を付けよう。</p> <p>自分たちが使っている施設は たくさんの方が働いているんだな。</p>
施設ポータルサイト をまとめているの が聞いてみたい。	<p>大層に思っている。 ・ 今使っている人がいないため、 郵便局の人が管理している。</p>		
郵便局ではどんな 仕事をしているの かな。	<p>お金を預かって、 預かってもらったりしている。</p>		
銀行ではどんな 仕事をしているの かな。	<p>助けてくれるの 聞いてみたい。</p>		
郵便局や郵便物の 仕事はおなごなの かな。	<p>郵便局はみんなが郵便物を持って 運送させて、預かってはかき送っている。</p> <p>郵便局は地域でみんなが郵便物を持って、 郵便物を届けてくれる。</p>		

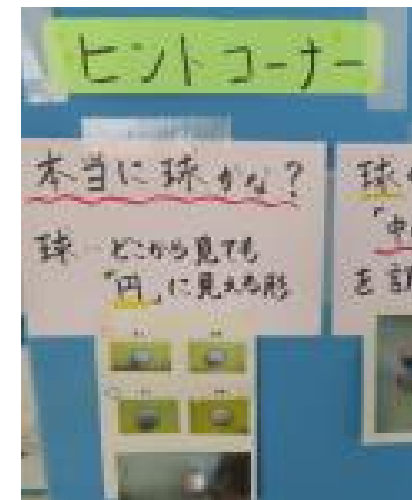
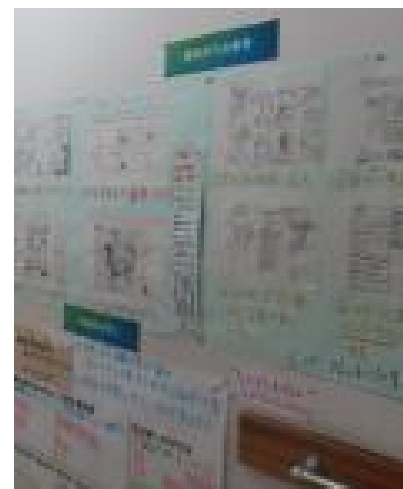
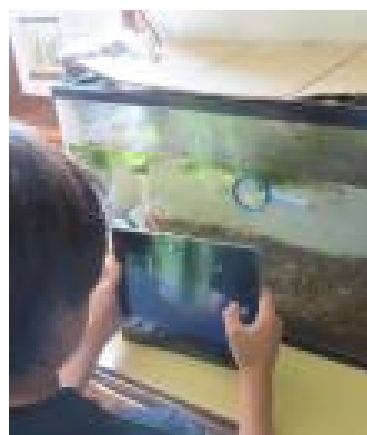
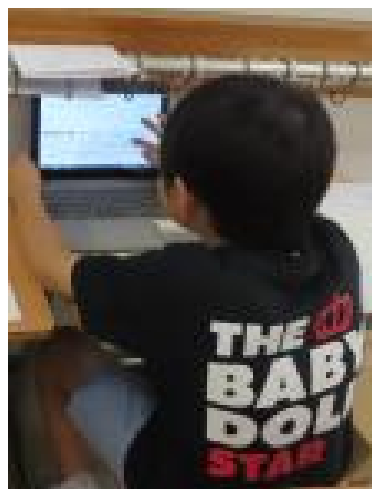
③ 「時間」…単元を通した計画を立てる

ラーニングマウンテン、表、スプレッドシート等、学びの道筋を示した。計画から振り返りまでの流れが明確になり、イメージの共有が図られた。



④ 「活動」…学びの環境デザインを作る

児童の「やりたい!」「試したい!」を叶えられるように手立てを工夫した。本物に触れたり、見聞きしたりできることは、学習の定着にも大きく作用すると考えた。



④ 「活動」…学びの環境デザインを作る

児童に委ねる時間を大切にした。
児童同士の学び合いと、「やってみたい」を促せるようにした。

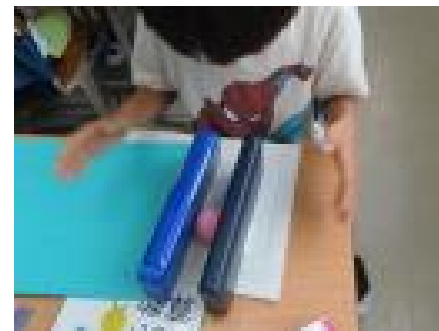


⑤ 「振り返り」…学び方や学びの形を振り返る

ひとりで？みんなで？



実験して？観察して？



書いて？入力して？



(3) 本校の 指導案 について

第2学年3組 生活科学習熟度別 単元名 「みんながつかう まちのしせつ」 授業時
 身の回りに様々な施設がありそれらのよさを感じ、活動地域の暮らしやすさに関与することができる児童を育成したい。

- 【1】 ねらい（全2時間）【学習指導要領 生活の科第4】を受けて設定
- 一部 みんながつかうまちのしせつをしよう【第1時～第2時】（全2時間）
 - ・活動地域の公共施設を知り、公共のルールやマナーに関与させる。
 - ・「まちのしせつかんけん」の計画を立てることを通して、施設や働く人などに興味をもたせる。
 - 二部 みんながつかうついにたんけんはいこう【第3時～第4時】（全2時間）
 - ・その施設について詳しく知り高いことを実際に履いたり、インタビューしたりする活動を通して、多くの人が利用するための様々な工夫があることやそれらを考える人がいることを気付かせる。
 - 三部 みんなでつかうしせつについて話し合おう【第5時～第6時】（全4時間）（本時）
 - ・実際にある公共施設について共通する役割や働きを探べたり伝え合ったりすることを通して、それらを考えている人がいることを理解させる。
 - ・自分の身の回りにはみんなで使う施設があり、それらが多くの人の生活を豊かにしていることを実感することで、これからも地域の公共施設に関心をもち、大切に利用しようとする態度を養う。
- 【2】 本時の視点
- ・調べた公共施設の目的を知り、比較することで、それぞれの働きをみつけることができる。
- 【4】 授業の展開（本時6/8） 児童数 37名

【2】 学習を通して実感した児童の姿
 公共施設や地域の公共施設を利用する活動を通して、それらの働きや役割やそこで働いている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが実感することができる。


学習過程	1. 学習の意欲をもつ 第1時～第2時	2. 個人で調べたり、仲間と関わったりして課題を達成する。 第3時～第4時（たんけん） 第5～6時	3. 学習を振り返る 第8時（まとめ 本時）
学習される学習活動・児童の活動の流れ			
施設について分かったことをみんなに伝えよう。			
<p>これまで調べたことから・・・ 個人の探究課題</p> <p>施設がどんなふうな役割をなんだろう。</p> <p>施設の種類はどんな種類なのかな。</p> <p>施設の中でどんな仕事をしているのかな。</p> <p>公共施設や民間施設の仕事はどんなのかな。</p>	<p>自分の調べた施設について伝え合おう</p> <p>伝えタイム</p> <p>施設を体験したり、説明してくれたりする人がいる。</p> <p>・実際にあった例、挙げていく施設がある。</p> <p>・学校など、パソコンをしてくる人がいる。</p> <p>・郵便局は、郵便を届けるだけじゃなくて、郵便を預かってもらえる。</p> <p>・施設にはたのしみものがある。遊具の施設がある。</p> <p>・大きな建物は、みんなでカーンを停めて置けないといけない。</p>	<p>公共施設について、共通する役割を確認しよう</p> <p>まとめタイム（一斉）</p> <p>施設がどんな役割をもっと知ってもらいたいかな。</p> <p>施設がみんなの生活を豊かにしている。</p> <p>施設の中でどんな仕事をしているのかな。</p> <p>施設がみんなの生活を豊かにしている。</p> <p>施設がみんなの生活を豊かにしている。</p>	
<p>学習のねらい</p> <p>○学習のねらいにそって学習の意欲を高めようとする。【資料1】</p> <p>○一人一人の個人の探究課題と、その課題を解決した結果を共有することができるようにし、刺激し合ったり、参考にしたりするなどの活動を促す。【資料2】</p>	<p>○グループワークやペアワーク、質問などが進められるような環境を整える。【資料3】</p> <p>○話し合いの場、調べたことを共有して発表する場を設け、ワークシートに記録しておけることができるようにする。【資料4】</p>	<p>○学習が達成したワークシートをもとに、発表によるフィードバックが得られるようにする。【資料5】</p>	<p>○自分の課題に対して、自分だけの考えを発表しあっているのか、振り返りをワークシートに書く。【資料6】</p> <p>○活動地域の公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じとる。安全に利用しようとしていたりしている。【報告、活動の様子、ワークシート】</p> <p>【本時の振り返りシート】</p>

(4) 加配教員の活用

- ① 地域との連携（地域教材の開発・人材活用）
- ② 活動の安全確保
- ③ アンケートの集計
- ④ 記録

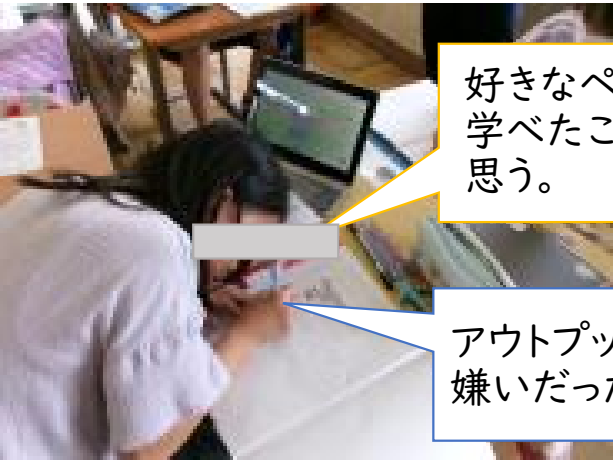
個別最適な学びと協働的な学びの「環境作り」を向上させた。
地域を巻き込んで教材化できたことは大きい。
次年度は、学びの質を向上させるために、効果的な活用を
図っていきたい。

(5) 児童の変容




やることがわかって勉強が楽しい。

友達と話すと、もっとわかるようになった。




好きなペース、好きなタイミングで学べたことが知識につながったと思う。

アウトプットの経験が増えたことで、嫌いだった社会が好きになった。



計画を立てることができるようになって、効率的に学習が進められるようになった。

わかることが楽しい。友達に正しく伝わると嬉しかった。



学びマップを使うことで、何をするかが明確になって、学習が捗った。

個別の学びを通して、やりたいことができるようになって、楽しくなった。

(6) その他の取り組み

☆ 保護者説明会の実施



☆ 同じ著書を読み、理解の共有

☆ リーフレット作成



☆ 指導主事を介しての 理論研修会の実施

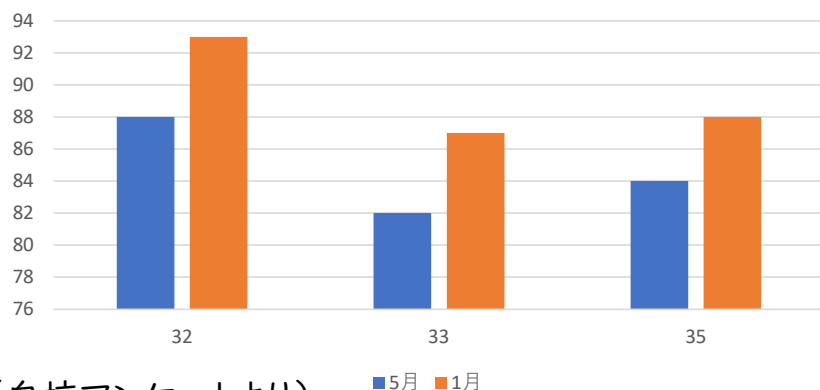


☆ 授業研究 (一人一授業)



4, 研究の成果と課題

自校アンケート



(自校アンケートより)

- 32 問題解決に向けて進んで学んでいる
- 33 学んだことを生かしながら考えをまとめている
- 35 友達と話し合う活動を通して考えを深めたり、新たな考えに気づいたりしている

<成果>

- ・問題解決に向けて、意欲的に学ぶ児童が増えた。
- ・学びを生かしたまとめができるようになってきた。
- ・友達と話し合うことで考えを深めたり、広げたりすることができてきた。

<課題>

- ・数値は伸びているものの、「学びを生かしたまとめができるようになってきた(33)」、「友達と話し合うことで考えを深めたり、広げたりすることができてきた(35)」の項目については、20%の児童ができていないと答えている。

<本校の課題>

① 学習を自分で計画したり、取り組み方を考えたりすること

児童が自分で学びの計画を立てることで、学びに意欲的になった。

② 自分なりに自信をもって取り組むための手立て

自分に合った学び方を選ぶよう、環境を整えていく必要がある。

単元で身につけなければいけない力を身につけることで自信が持てるのではないだろうか。

5, 今後の展望について

児童に学びのハンドルをもたせ、「やってみる」「触れてみる」「人とつながる」「地域とつながる」を大切にした本校の「学びの形」は、児童が主体的に学びに向かうことができる「新しい学びの形」になると考えられる。

来年度は、単元構成を大事にして、「新しい学びの形」の質を高めながら、研究を進めていきたい。